



Press Release
報道関係者各位

2025年1月20日
SEQSENSE株式会社

国分寺市役所にて 警備ロボット「SQ-2（エスキューター）」の本格稼働を開始

SEQSENSE株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：中村 壮一郎、以下SEQSENSE）は、株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：木村 昌平、以下東急コミュニティー）が管理運営を行う「国分寺市役所」の新庁舎にて、2025年1月6日（月）から自律移動型警備ロボット「SQ-2」の本格稼働を開始いたしました。



国分寺市役所で運用中のSQ-2

SEQSENSEは「世界を変えない。」というミッションを掲げ、深刻化する労働力不足の解決策として、自律移動型ロボットの開発・製造・サービス提供を行っています。

この度、東急コミュニティーが管理運営を行う国分寺市役所において、警備ロボットSQ-2が導入されました。SQ-2が、全国の市庁舎に導入されるのは、今回が初の事例となります。

【SQ-2が担う業務】

開庁時の業務

国分寺市役所の新庁舎は、市民の利便性を高めるために窓口機能が1階・2階に配置されています。SQ-2は窓口の営業時間中に1階・2階を定期的に巡回・立哨を行い、警備業務を行います。



国分寺市役所で巡回中のSQ-2

閉庁時の業務

夜間は1階窓口エリアのシャッターが閉じられます。その際、SQ-2は異常がないかチェックを行います。また夜間はシャッターの外側、1階のエントランスロビーを巡回します。

今後もSEQSENSEは働き手不足や生産年齢人口の減少といった社会課題への解決策として、実務利用できるロボットの社会実装を進めてまいります。

【警備ロボット「SQ-2シリーズ」について】

SQ-2は、3次元センサー技術・自己位置推定アルゴリズム・リアルタイム経路計画アルゴリズムなど高度なテクノロジーを駆使することで生まれた自律移動型の警備ロボットです。独自の3DLiDARを搭載しており、警備対象物件の詳細な3次元マッピング、歩行者をはじめとした動体検知、環境の変化を検出することが可能です。

立哨・巡回・来館者対応といった警備業務の全面的あるいは部分的な代替を行うことで、施設の管理コスト削減に貢献します。

さらに、SQ-2は定期的な遠隔アップデートにより、新機能の実装や不具合解消を行うため、常に最新の状態でご利用いただけます。



◇国分寺市役所

所在地 : 東京都国分寺市泉町2-2-18
URL : <https://www.city.kokubunji.tokyo.jp>

◇株式会社東急コミュニティー

所在地 : 東京都世田谷区用賀4-10-1
世田谷ビジネススクエア タワー
代表者 : 代表取締役社長 木村 昌平 (きむらしょうへい)
URL : <https://www.tokyu-com.co.jp/>
事業内容 : マンションライフサポート事業、ビルマネジメント事業、リフォーム事業



◇SEQSENSE株式会社

所在地 : 東京都中央区明石町6-4ニチレイ明石町ビル 5階
創業 : 2016年10月3日
代表者 : 中村 壮一郎
URL : <https://www.seqsense.com>
事業内容 : 自律移動型ロボット及びその関連製品の開発

◇本件に関するお問い合わせ先

SEQSENSE株式会社 営業部 担当 : 熊田、井川
Tel : 03 (6625) 5313
Mail : staff@seqsense.com